



歳時 世相篇 26

映画にみる台湾の多様性

台湾で一昨年、大ヒットした映画『海角七号』が今年のはじめに日本でも公開されて話題を呼んだ。第二次世界大戦終了直後に台湾から日本へ引き揚げた日本人青年が台湾に残した恋人にあてた手紙が戦後、数十年を経て届けられることから話がはじまる。邦題のサブタイトルに「君想う、国境の南」とつけられたこの映画は、「ときをこえた日本と台湾の恋愛物語」、「台湾と日本との絆の物語」と日本での評判も悪くない。が、筆者はこの映画をそんな視点ではあまりとらえないでいた。この映画は、台湾における多民族の状況を非常に素直に描き、かつて日本人がいろいろなことを台湾に「押しつけた」ことをユーモアと皮肉をもって伝えているなと思うのである。それ

大甲媽祖遶境進香 夏の到来をつげる 台湾の媽祖巡行



海運や漁業の安全をつかさどる海の神、媽祖。その誕生日とされる旧暦の3月23日には、各地の天后宮で祭典が催され、集まった人びとは媽祖をかついで夜通し練り歩く。この行列が終わると、台湾は本格的に夏の季節を迎える

を如実にあらわしたのが映画後半の次の一場面であった。

舞台は台湾の南端にほど近い町。日本人歌手がおこなうピーチコンサートの前座に、地元の子供たちが出演することになった。このメンバーがなかなか個性的なのである。都会で夢破れて故郷にもどり郵便配達をしている本省人青年、地元で警察官をしている酒が強いパイワン族青年、

日本語世代の本省人のおじいさん、原住民族のお酒を商品化して売り込む客家人男性といった具合に、台湾社会の現状や民族のモザイク状況の縮図ともいえる構成になっていた。そこに、バンドを人前に出せるまでに仕上げるために、日本人の若い女性モデル（どうも売れないらしい）がマネージャーとしてはりつけられる。彼女、台湾の文化や社会にかなり疎い。いよいよ本番を目前に控え

海の神、媽祖

ところで、本省人のおじいさんが、お守りとして首にぶら下げていた媽祖は、古くから台湾の人びとに信仰

されてきた道教の神さまのひとつである。海運や漁業の安全をつかさどる海の神であり、台湾だけでなく、福建省や広東省でも根強い信仰が見られる。古来、山の神は女性がつきものであるが、海の神が女性というのはあまり聞かない。媽祖は女神で、宋代に実在した林姓の女性にその由来を求めることができる。千里眼と順風耳というふたつの神さまをしたがえ、先を見通し、荒ぶる海のなか人びとを導いていくことから、海に囲まれた台湾ではとりわけ愛着をもたれている神さまといつてよいであろう。福建から台湾へ渡った移民の人びとや世界に飛び出した華僑の人びとが媽祖を尊ぶという気持ちはよく理解できる。

天后宮での祭典

台湾の各地にはこの媽祖を祀った廟が建てられている。媽祖は天后や天上聖母とよばれ、祀られている天后宮や廟はいつもその信者でにぎわっている。また、その誕生日とされる旧暦の三月二十三日には各地の天后宮で祭典が年中行事として催される。そのなかでも最大なのが、媽祖の総本山のひとつとされている台中県の大甲にある鎮瀾宮 (http://www.dajiamazu.org.tw) の媽祖像が、毎年四月の後半から五月にかけて嘉義

野林厚志

民博 研究戦略センター

人間と動物との関係を歴史的、社会的に考える研究と、台湾原住民族の社会や歴史を物質文化を手がかりに考える研究との二足のわらじをはいている。

て、バンドがなかばあきらめムードで練習を放り出しかけているときに、この女性マネージャーは練習場にやってきて、バンドのメンバーにパイワン族のトンボ玉の首飾りをお守りだといって渡していく。パイワン族青年は脈絡のないトンボ玉を日本人に渡され不愉快になり、おじいさんは、自分もともと信仰している媽祖の神さまのお守り袋をさすりながら、神さま同士が喧嘩しないかなと困惑しながらも、バンドのメンバーを思う女性の気持ちにこたえ、トンボ玉を受けとるのであった。相手のことがよくわからない日本人が台湾人や原住民族の人たちによかれと思っただけに、なかばあきれながらも寛容に接してきてくれた台湾の人びとの懐の深さを筆者は感じたのだった。

現在、台湾の首都台北の天后宮は日本時代の寺院の建物を利用した小さな建物である。日本が統治する以前、台北の天后宮は現在の總統府の近くに建てられていた。度重なる台風や水害のため、かなり傷んでいた天后宮は修理されることなく撤去された。その後には、「科学的」な知を伝えるための博物館が一〇〇五年に建設された。現在の国立台湾博物館の前身となる台湾総督府博物館である。信仰のよりどころであった天后宮のかわりに建てられた知の装置を台湾の人びとは受け入れた。そして、それは今でも当時の面影を残し、人びとが集う場所となっている。寛容の文化と歴史が台湾にあることを教えてくれる気がする。